

我が国周辺水域資源評価等推進委託事業

住友寿明・吉見圭一郎・杉本善彦・守岡佐保・木下雅雄・
長尾和年・悦田 明・藤岡保史・原田 純・國井秀人

本事業の目的は、国連海洋法条約の発効に伴い我が国周辺水域内の水産資源の有効利用と管理に必要な資料を収集し、資源を評価することである。徳島県を含む共同実施機関は、独立行政法人水産総合研究センターを代表機関として、当該事業の委託を水産庁から受けている。本報告では、その実施内容を記す。

1. 漁獲成績報告書の収集

中型まき網1統の漁獲成績報告書を整理した。

2. 魚種別・漁法別の漁獲状況調査

次の各漁協における魚種別・漁法別の漁獲量を集計した。

(1)瀬戸内海

北灘：マダイ（小型定置網，小型底びき網）

鳴門町：マダイ（一本釣り）

徳島市：マダイ，ヒラメ（全て小型底びき網）

椿泊：マダイ（小型定置網，小型底びき網），ヒラメ（小型定置網，小型底びき網，刺網），トラフグ（延縄），サワラ（延縄）

橘町：トラフグ（釣り，延縄），サワラ（釣り，延縄）

(2)太平洋

東由岐：マイワシ，カタクチイワシ，ウルメイワシ，マアジ，サバ類，ブリ，マダイ（全て小型定置網）
牟岐東：マダイ，マアジ，サバ類，ブリ（全て釣り）

牟岐町：マイワシ，カタクチイワシ，ウルメイワシ，マアジ，サバ類，ブリ，マダイ（全て小型定置網）

鞆浦：マイワシ，カタクチイワシ，ウルメイワシ，マアジ，サバ類，ブリ，マダイ（全て大型定置網）

穴喰：マイワシ，カタクチイワシ，ウルメイワシ，マアジ，サバ類，ブリ，マダイ（全て小型定置網）

3. 船びき網操業実態調査

船びき網14統（徳島市漁協1統，和田島漁協7統，橘町漁協1統，阿南漁協5統）の標本船日誌調査を実施し，シラス（イワシ類の稚仔）の漁獲量及び操業海域等を調べた。

4. 生物測定調査

(1)体長測定調査

次の各漁協において対象魚種の体長を測定した。

和田島・阿南：シラス

椿泊・穴喰：マイワシ，カタクチイワシ，ウルメイワシ，マアジ，サバ類

徳島市：カタクチイワシ成魚

(2)魚体精密測定調査

体長測定調査の ． に記載した漁協の魚種を，毎月1回の頻度で，体長，体重，性別，生殖腺重量を測定した。

5. 魚類卵稚仔量調査

イワシ類，アジ・サバ類等の卵稚仔量を把握するため，次の調査を実施した（1月を除く毎月）。

(1)調査海区：播磨灘海区，紀伊水道海区，海部沿岸海区，海部沖合海区

(2)調査項目：卵稚仔

(3)調査方法：改良型ノルパックネット(口径45cm x 高さ180cm，オープニング0.335mm)の垂直曳き

(4)調査点数

播磨灘海区2点，紀伊水道海区12点，海部沿岸海区12点，海部沖合海区3点(海部沖合海区は5，8，11，2月に実施)

6. 資源動向調査

ムロアジ類，タチウオ，ハモについて，関係県と連携を図り，資源動向をモニタリングした。

7. 調査結果の報告及びとりまとめ

得られたデータは電子情報に変換して，我が国周辺水域漁業資源調査情報システム(FRESCO)で関係先へ電送した。また，資源評価会議（瀬戸内海ブロック，中央ブロック）と漁海況予報会議において，資源評価と漁海況予報の結果を報告した。なお，資源評価対象魚種については，平成26年3月に委託元の水産庁と共同実施機関代表者の独立行政法人水産総合研究センターが平成25年度我が国周辺水域の漁業資源評価としてとりまとめているので，そちらを参照されたい。資源動向調査魚種については，本事業報告で魚種毎に別途記載した。